



発行：がん診療推進委員会 発行元：がん診療支援室

「がん病態栄養専門管理栄養士」の研修会を受けて

医療技術部 栄養課 鈴木 真理



昨年、「がん病態栄養専門管理栄養士」の資格を取得するために関東で開催された研修会に参加してきました。

「がん病態栄養専門管理栄養士」とは、がん医療の進歩をふまえ、がん患者の栄養・食事療法に関するより高度な知識・技術と臨床経験を備え、管理栄養士として専門性を生かしたより適正かつ良質な利用・食事療法を提供することを目的に日本栄養士会と日本病態栄養学会が共同して認定制度を発足したものです。

今回の研修では、がん専門病院を初め日本全国の病院から管理栄養士が集まり、色々な方面の先生方の講義を聞き、また参加した栄養士の各々の施設での取り組みや今後の方向性について話し合うことが出来ました。

最近はがん治療の技術が向上し、全がんの5年生存率が50%を超えています。それは言い換えれば、がん治療を受けながら生活をする時間が長期間になってきているということです。治療のために体力や体重を維持するための食事療法から最後を迎えるための食事、それぞれに考えていく必要があると思います。

今後は緩和ケアチームの一員として、栄養に関する情報を発信していきたいと考えています。



口渇が強いときの栄養補給に
栄養剤（エンシュア）のかき氷

緩和ケアの一環として

“かき氷器”を貸し出しします



【貸し出しの手順】

- ①キャビネット→「栄養課」→「終末期患者のかき氷提供について」
※依頼用紙に必要事項を記入
- ②記入した用紙とジュース（エンシュア等）を栄養課まで持参
- ③翌日（当日希望は要相談）に栄養課まで取りに来てもらう
※凍らせた物とかき氷器を渡します
- ④使用したかき氷器は洗浄して、栄養課に返却
※詳しくは依頼用紙に記載されています

がん関連の院内研修会のお知らせ

★緩和ケアランチンセミナー

日 時：6月10日(水) 12:30～
場 所：講堂

テーマ：「がん性疼痛看護
～セルフコントロールを支援する～」

講 師：がん性疼痛看護 CN 富永 治美



みなさんご参加ください！